

わいなきょうこプロジェクト

「今、何をすべきか」

フセイン・チャラヤンへの公開インタビュー



Images from HTW -Berlin



3/23 (木) 18:00~20:00

場所 | 秋田市文化創造館 コミュニティスペース

登壇 | フセイン・チャラヤン、わいなきょうこ

定員 | 50人(先着順)

参加費 | 無料

お申し込み |

■会場参加：お電話（018-893-6424）もしくは、以下webサイトからお申し込みください。

■オンライン参加：お申し込み不要。以下webサイトに3/20頃、zoom(ウェビナー)のURLを掲載いたします。そちらのURLからご視聴ください。

「PARK - いきるとつくるのにわ」の「観察する」プロジェクトに参加するクリエイターのわいなきょうこが、デザイナー/アーティストのフセイン・チャラヤン氏への公開インタビューを実施いたします。チャラヤン氏が本当の日本の姿を求めて、秋田県美郷町を拠点に活動するわいなきょうこの元へ訪れることとなった事をきっかけとし、今回の公開インタビューが実現しました。本公開インタビューでは、昨今教育活動に力をいれているチャラヤン氏とわいなきょうこの共通の意識に基づき「今の時代に表現者として何をすべきか」をチャラヤン氏へのインタビューを通じて問いかけます。

○問い合わせ先

秋田市文化創造館（NPO 法人アーツセンターあきた）

電話：018-893-6424

メール：park@artscenter-akita.jp

主催 | 秋田市

企画・制作 | NPO 法人アーツセンターあきた



■「今、何をすべきか」webサイト
<https://akitacc.jp/event-project/wainai323/>

フセイン・チャラヤン (デザイナー / アーティスト)

トルコ領の北キプロス出身で、8歳の時にロンドンに移住。セントラル・セント・マーチンズ芸術大学でファッションデザインを専攻する。卒業制作をロンドンの有名セレクトショップ『ブラウンズ』が買取って話題を集め、1994年に自身のブランドを立ち上げる。

人類学、自己認識、科学哲学など、分野に囚われない自由な思考に基づく作風は、ファッション界では特異な存在として脚光を帯びる。ファッションコレクションのほか、美術館でも作品を発表する。

教職ではウィーン応用美術大学のファッション科で教鞭を取った後、2019年よりベルリンのHTW大学の教授に。サステナビリティ、アイデンティティ、イノベーションを専門に学生を指導する。マサチューセッツ工科大学とのコラボレーションで 'Digital Skin' のプロジェクトも進行中。2006年、大英帝国勲章を授与されている。

<https://chalayan.com>

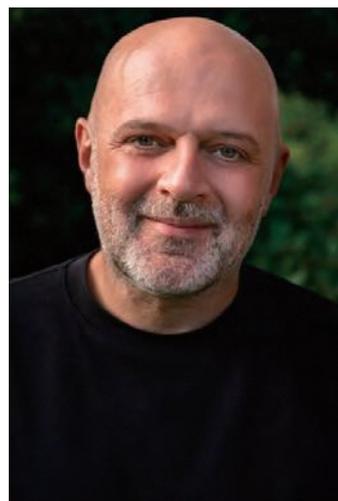


Photo by: Cem Talu

わいない きょうこ (デザイナー / やぶ前)



撮影 | 大森克己

横浜市出身。桑沢デザイン研究所写真研究課卒。日本でバッグデザイナーとしてそのキャリアをスタート、活動拠点をロンドンに移した後は、内外問わず様々な企業やデザイナーとのコラボレーションを通じ、バッグを主軸にファッション小物やインテリア・オブジェなどを制作。また舞台、映画などのコスチュームデザインも担当。現在はボタン王立タラヤナ財団クリエイティブアドバイザーなど続けながら、ロンドンのスタジオを母方のルーツ秋田美郷町に移し、町の人々と伝統と知恵を新しく捕まえる形で世界にその暮らしぶりを伝えるための町の学び舎 'やぶ前' を始めた。

●「PARK - いきるとつくるのにわ」でのわいないきょうこの活動は以下のサイトからご覧ください。



■「PARK」わいないきょうこ活動紹介 web サイト
<https://akitacc.jp/event-project/wainaikyoko/>

【PARK - いきるとつくるのにわ (Public, Arts and Research Kitchen)】

秋田に暮らす人々やクリエイター、専門家が交わり多様な活動を展開するプロジェクト「PARK - いきるとつくるのにわ (英題:Public, Arts and ResearchKitchen)」(主催:秋田市、企画・制作:NPO 法人アーツセンターあきた)が2022年7月より秋田市文化創造館を拠点にスタートしました。本プロジェクトでは「観察する」「出会う」「育む」「残す」という4つのプログラムを通して、クリエイターによるプロジェクトの実施や専門家を招いたトーク & ワークショップの開催、秋田で暮らす人々による活動の場の創出を行います。

※本事業は、秋田市「文化創造プロジェクト」の一環として実施しています。秋田市では「文化創造プロジェクト」を通して、市民による様々な活動や、人と人とのつながりを創出するなど、文化を切り口に将来のまちづくりを見据えたソフト事業やネットワークづくりに取り組んでいます。

<https://akitacc.jp/event-project/park/>

